

# 但馬におけるヒメハルゼミと クチキコオロギの記録

永幡嘉之

但馬海岸にはスダジイやタブノキからなる照葉樹林が広く分布しており、ベーツヒラタカミキリやクロオビトゲムネカミキリなどの南方系の昆虫が多く知られる。今回は、但馬で確認した暖地性の昆虫2種について報告する。

## 1. ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis*

合唱性や分布の特異性からよく知られたセミである。従来、但馬では城崎温泉や豊岡市絹巻神社から知られていたが、今回新たに2産地を追加する。

美方郡浜坂町本谷	1 ♂	25-VII-1993	永幡嘉之
"    温泉町飯野	1 ♂	20-VII-1992	"

浜坂町本谷の産地は、久斗川上流域の山の斜面で二次林である。ウラジロガシが多いほかスダジイとアカガシも混じっているが、全体的にはコナラやミズナラなど落葉樹のほうが多い。尾根筋にはブナが見られ、ブナの下限とシイ・カシ類の上限とが重なるため、ブナ林でもヒメハルゼミの声は聞かれる。今回は本谷のみで確認したが、久斗川の他の支流や香住町側の斜面にも生息している可能性がある。飯野では寺社の社叢林に見られる。ウラジロガシとスダジイの古木が多い。浜坂町観音山、温泉町霧ヶ滝などには生息していないようである。

なお、鳥取市の小林一彦氏によって、香住町の佐津川上流でも1992年に確認されている。種々のご教示を頂いている同氏に御礼申し上げる。

## 2. クチキコオロギ *Duolandrevus coulonianus*

浜坂町居組のJR線路沿いに設けられたスギ防雪林にはスギカミキリが多いが、その採集の際、スギの樹皮下のクモの巣に直翅目の死骸が多いことに1991年の春から気づいていた。1993年になって完全な形の死骸2個体を得るとともに、生きた成虫も目撃したが採集できなかった。今回、自然林のアカマツ倒木樹皮下から越冬中の個体を採集したのでこれを機に報告する。

美方郡浜坂町居組	死骸 2 ♀ ♀	16-IV-1993	永幡嘉之
"    "    " (陸上岬)	1 ♂	24-XII-1993	"